Shower toilet

取扱説明書

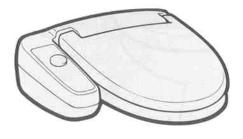
保証書付
（別添）

このたびは当社商品をお買い求めいただき
誠にありがとうございました。
ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ
正しくお使いください。
お読みになった後もすぐ取り出せる場所に、
大切に保管してください。

シャワートイレ 1000シリーズ

CW-1040型・CW-1041型
CW-1050型・CW-1051型

もくじ

各部のなまえ…… 1
安全上の注意…… 3
お使いになる前に確認してください…… 7
ご使用方法
●ご使用前に準備してください…… 9
（便座）…… 9
（温水）…… 9
●操作は簡単です （おしり洗浄）…… 10
（ビデ洗浄）…… 10
（ワイド洗浄）…… 11
（洗浄位置）…… 11
（乾燥）…… 12
（脱臭）…… 13
（節電）…… 14
●知っておいていただきたいこと…… 14
お取り扱い上の注意…… 16
お手入れ方法
●日頃のお手入れ…… 17
●便フタを外して掃除します…… 19
●脱臭効果が弱くなった場合…… 20
●本体を外して掃除します…… 21
●シャワーが弱くなってきたなと思ったら…… 25
長期間使用しない場合…… 26
冬期凍結の恐れがある場合…… 27
修理を依頼される前に
●故障かなと思ったら…… 29
アフターサービス…… 30
仕様…… 32
別売品のご案内…… 33

説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が生じた場合、
当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
転居される場合、
次に入居される方にこの説明書と保証書をお渡しください。

各部のなまえ

■全体図

ラベル
便フタ
タンク
サプライ管または
タンク給水ホース
便フタ着脱レバー
シャワートイレ
本体
脱臭カートリッジ
（下記参照）
分岐金具
ノズル（おしり用）
ノズル（ビデ用）
電源プラグ
便座
止水栓
洗浄強さダイアル
（☞2ページ）
便器
アース線
操作部
（☞2ページ）
ストレーナー
（下記参照）
本体給水ホース
温水タンク水抜栓
（下記参照）

■脱臭カートリッジ

※ニオイを吸収・除去します。

■ストレーナー、温水タンク水抜栓

※ ストレーナーは、水道水内の異物を除去します。
温水タンク水抜栓は、温水タンク内の水を抜くときに外します。

■操作部

おしり
おしりを洗うときに使用します。(☞10ページ)

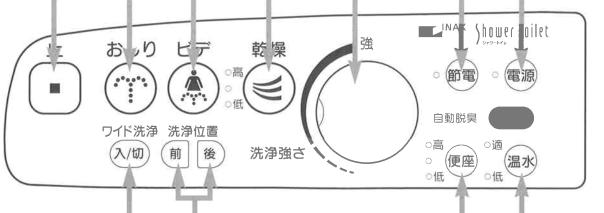
乾燥〈乾燥付〉
ぬれた部分を乾かすときに使用します。(☞12ページ)

節電
便座と温水の温度を下げて節電します。(☞14ページ)

止
●おしり洗浄●ビデ洗浄●乾燥の動作が止まります。

ビデ
ビデ洗浄のときに使用します。(☞10ページ)

洗浄強さダイアル
おしり洗浄、ビデ洗浄時の洗浄強さを調節します。(☞10ページ)

電源
電源の入／切をします。(☞9ページ)

ワイド洗浄
ノズルが前後に動いて広い範囲を洗浄します。(☞11ページ)

洗浄位置
洗浄位置を調節します。(☞11ページ)

便座
暖房便座の温度を調節します。(☞9ページ)

温水
温水温度を調節します。(☞9ページ)

※脱臭は便座に座ると、自動的に始まります。(☞13ページ)

別　売　品

※ 購入方法は、33ページをご覧ください。

■リモコン(CWA−9)
おしり洗浄、ビデ洗浄、乾燥が無理のない姿勢で操作できます。
※ リモコンをご使用の場合は、34ページをご覧ください。
※ **乾燥無**では、乾燥スイッチを押しても温風は出てきません。

■部屋暖房ユニット(CWA−30)
お好みの温度に設定すれば、トイレ室内を一定の温度に保ちます。寒い日でも快適にトイレを使用できます。
※ **乾燥付**にのみ取付可能。
※ 和風アタッチメント（RC-504）をセットした場合、部屋暖房ユニットを取り付けることはできません。

■流せるもん(CWA−13、CWA−18)
便座から立ち上がると自動的に便器洗浄ができます。(リモコンでも操作できます。)
※ 流せるもんは、便器によって取り付かない場合があります。
※ CWA-13はW節水便器用です。

安全上の注意（必ずお守りください。）

ご使用の前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号の説明

警告 ・・・・「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」

注意 ・・・・「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

・・・・「注意しなさい！」（上記の『警告』、『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）

・・・・「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）

・・・・「分解してはいけません！」

・・・・「バスルームやシャワールームなどの水場で使用してはいけません！」

・・・・「指示した場所に濡れた手で触れてはいけません！」

・・・・「火気を近づけてはいけません！」

・・・・「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

・・・・「電源プラグをコンセントから抜きなさい！」

・・・・「アース線を接続しなさい！」

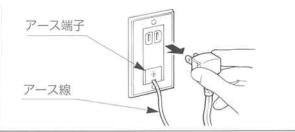
⚠警告

次のような方が使用されるときには、便座スイッチを「低」、または「切」にして周りの方が十分注意してあげてください。

お子様、お年寄り、病気の方、ご自分で温度調節のできない方、皮膚の弱い方、皮膚感覚の弱い方、睡眠薬など眠気を誘う薬を服用された方、深酒、疲労の激しい方

※ 長時間使用されますと、低温ヤケドをおこす恐れがあります。

アースを確実に取り付けてください。

※ 故障や漏電のときに感電する恐れがあります。
※ コンセントにアース端子がない場合は、電気工事店にご相談ください。

バスルーム内など湿気の多い場所には、設置しないでください。

※感電・火災の原因となります。

電源プラグに付着したほこりは定期的にふき取ってください。その際は電源プラグを抜き、乾いた布でふき取ってください。

※絶縁不良により火災の原因になります。

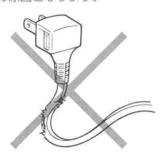
修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。

※ 感電・火災の原因や、異常作動してケガをすることがあります。

本体内に水や洗剤を入れないでください。本体や電源プラグ部に水や洗剤をかけないでください。

※ 感電・火災の恐れがあります。

傷んだ電源プラグやコンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。

※ 感電・火災の原因となります。

上水道以外に接続しないでください。

※ ぼうこう炎や皮膚の炎症、および機械内部の腐食により感電・火災を起こす恐れがあります。

濡れた手で、電源プラグを抜き差ししないでください。

※感電の原因になります。

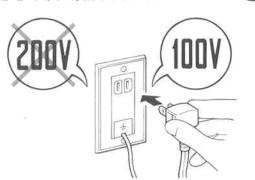
⚠注意

樹脂部のお手入れには、便座に使用できる洗剤以外(トイレ用洗剤、住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、クレンザー、クレゾール)は使用しないでください。
※ 樹脂が割れてケガや感電・火災の原因となります。

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。
※ 電源コードが破損し、感電・火災の原因となります。

便フタや本体カバーの上に乗らないでください。
※ 破損してケガをすることがあります。

便座や本体カバーが破損した場合、コンセントから電源プラグを抜いて修理を依頼してください。
※ そのまま使用すると感電・火災の原因となります。

交流100V以外では使用しないでください。
※ 感電・火災の原因となります。

脱臭カートリッジ取付口の奥に脱臭ファンがありますので、指や脱臭カートリッジ以外の物を入れないでください。
※ 指をケガしたり故障の原因になります。

お年寄り、ご自分で温度調節のできない方、皮膚感覚の弱い方は、乾燥スイッチを「低」にしてご使用ください。
〈乾燥付〉
※ 高温での乾燥はヤケドの原因となります。

⚠注意

ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉めてください。また、ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようにしっかり締めてください。
※ 漏水の原因になります。

本体カバーや便座、便フタは樹脂製です。タバコや灰皿などの火気類を近づけないでください。
※ 火災の原因となります。

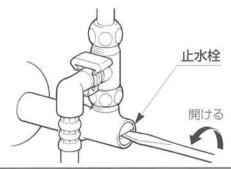
小さなお子様や、お年寄り、身体の不自由な方が使用されるときは、間違った操作やあぶないことをしないように充分に注意してあげてください。

ご使用中に普段と異なった音や煙、ニオイなどがしたら、ただちに使用をやめて電源プラグをコンセントから抜き、お求めの販売店または(株)INAXメンテナンスにご連絡ください。

お使いになる前に確認してください

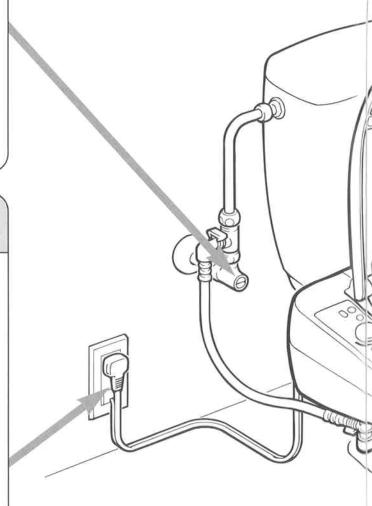
シャワートイレを便器に設置し、はじめて使用される前に必ず下記の項目を確認してください。

1 止水栓が開いていることを確認します。

止水栓が閉まっている場合は、左に回して開けます。
開いている場合は調節してありますので、必ずもとの位置に戻してください。

2 電源プラグとアース線をコンセントに接続します。

1. アース線をコンセントのアース端子に接続します。
2. 電源プラグを交流(AC)100Vのコンセントに差し込みます。

3. 電源スイッチのランプが点灯していることを確認します。

※ 電源投入時に、電源が「入」の状態になり、電源ランプが点灯します。
(☞14ページ参照)

3 おしり洗浄を確認します。

1. **腕を便座にのせたまま、おしりスイッチを押してください。**
2. **ノズルが伸びてきたら先端に手をかざしてシャワーを受け止めてください。**
   ただし温水タンクが満水でないと2分近くかかることがあります。

3. **シャワーを止めるときは、止スイッチを押してください。**
   ご使用方法(9ページ以降)をご覧になって他の機能も確認してください。

※ シャワートイレには、人が便座に座ったことを感知する**着座センサー**が付いていますので、おしり洗浄、ビデ洗浄、脱臭、乾燥〈乾燥付〉は、便座に触れていないと作動しません。

⚠ 警告

アースを確実に取り付けてください。
※ 故障や漏電のときに感電する恐れがあります。
※ コンセントにアース端子がない場合は、電気工事店にご相談ください。

⚠ 注意

交流100V以外では使用しないでください。
※ 感電・火災の原因となります。

ご使用方法

《ご使用前に準備してください。》

シャワートイレを使用する前に下記の操作をしますと、より快適にご使用になれます。

■電源（電源の入／切）

電源スイッチを押して電源の入／切をします。

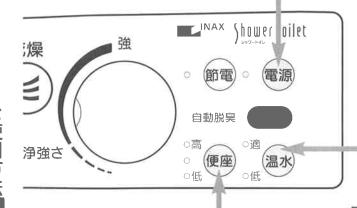
※ 電源が入ると操作部の電源ランプが点灯します。

※ 電源プラグをコンセントに差し込むと自動的に電源は「入」の状態になります。

■温水（シャワーの温めかた）

温水スイッチでシャワーの温度を調節します。

スイッチを押すたびに表示ランプが「切（消灯）」から「適」・「低」と切り替わりますのでお好みの温度にセットしてください。

※ シャワーはすぐには温まりません。あらかじめ使用する10～15分前にスイッチを入れておけば、快適にご使用できます。

■便座（便座の暖めかた）

便座スイッチで便座の温度を調節します。

スイッチを押すたびに表示ランプが「切（消灯）」から「高」・「―(中)」・「低」と切り替わりますのでお好みの温度にセットしてください。

※ 便座はすぐには暖まりません。あらかじめ使用する10～15分前にスイッチを入れておけば、快適にご使用できます。

⚠ 警告

次のような方が使用されるときには、着座後便座スイッチを「低」、または「切」にして周りの方が十分注意してあげてください。

お子様、お年寄り、病気の方、ご自分で温度調節のできない方、皮膚の弱い方、皮膚感覚の弱い方、睡眠薬など眠気を誘う薬を服用された方、深酒、疲労の激しい方

※ 長時間使用されますと、低温ヤケドをおこす恐れがあります。

ちょっと便利な機能

■便座ヒーターオートOFF機能について

このシャワートイレには、座ると自動的に便座ヒーターを切って、低温ヤケドをおこしにくくする機能がついています。下記の要領でセットしてください。

※ この機能をセットしているときに、着座すると、便座の表示ランプが消灯します。

※ この機能をセットしているときに、連続で使用すると便座がぬるく感じるときがあります。

※ 便座ヒーターは、立ち上がると自動的に復帰します。

●セットおよび解除方法

止スイッチと便座スイッチを同時に6秒以上押し続けます。

※ 停電時や電源プラグをコンセントから抜いたりしたときは、この機能が解除されますので、再セットしてください。

※ 解除も同じ方法で行います。

《操作は簡単です。》

■おしり洗浄

1 おしりスイッチを押します。

ノズルの先端からシャワーが噴出して、おしりおよびその周辺を洗います。

■ビデ洗浄

1 ビデスイッチを押します。

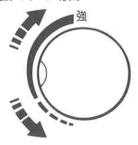
ノズルの先端からシャワーが噴出して、女性のデリケートな部分を洗います。

2 シャワーの強さを調節するときは洗浄強さダイアルを回します。

強くする場合

弱くする場合

3 シャワーを止めるときは止スイッチを押します。

※ おしりおよびビデ洗浄は、2分後に自動的に停止するセルフストップ機構付きです。

注意

水道圧が低いところでは、洗浄強さダイアルを弱くすると、ノズルが出ないことがあります。
このような場合は、「強」側にゆっくり回して調節してください。

参考

おしりおよびビデ洗浄には、洗浄範囲が広がる"ワイド洗浄"機能と、洗浄位置が調節できる"洗浄位置調節"機能があります。次ページをご覧ください。

■ワイド洗浄(ワイド洗浄の使いかた)

1 ワイド洗浄スイッチを押します。

おしりまたはビデ洗浄中にノズルが前後に動いて広い範囲を洗浄します。

2 ワイド洗浄を止めるときは、再びワイド洗浄スイッチを押します。

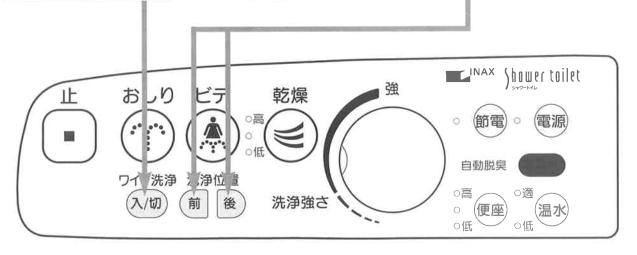
■洗浄位置(洗浄位置の調節)

1 洗浄位置調節「前」スイッチを押します。

おしりまたはビデ洗浄中に洗浄位置を前側に調節することができます。

※ 洗浄位置は、前側2段階に調節ができます。
初期位置から後側への調節はできません。「後」スイッチは、洗浄位置を元に戻すときに使用します。

※広い範囲を洗浄します。

※洗浄位置が調節できます。(前側2段階)

※ ワイド洗浄を使用している時は、一時脱臭が停止します。

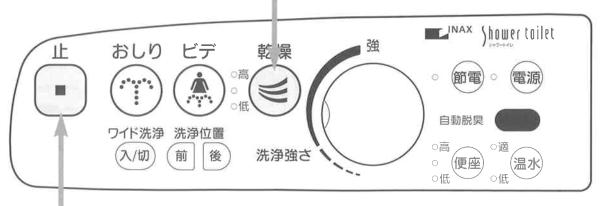
■乾燥（温風乾燥のしかた）

〈乾燥付〉

1 乾燥スイッチを押します。

温風がでてきて、シャワーで濡れた部分を乾燥します。

2 温風温度を変えるときは再度乾燥スイッチを押します。

スイッチを押すたびに表示ランプが「高」から「(中)」→「低」→「高」と切り替わりますのでお好みの温度にセットしてください。

3 温風を止めるときは止スイッチを押します。

※ 温風乾燥は、4分後に自動的に停止するセルフストップ機構付きです。
※ 乾燥機能は、便座から立ち上がっても「切」にはなりません。

⚠ 注意

お年寄り、ご自分で温度調節のできない方、皮膚感覚の弱い方は、乾燥スイッチを「低」にしてご使用ください。
〈乾燥付〉
※ 高温での乾燥はヤケドの原因となります。

参考

洗浄後、トイレットペーパーで軽く水滴を取ってから乾燥スイッチを押せば、素早く乾燥できます。

ちょっと便利な機能

■温風「低」始動機能について

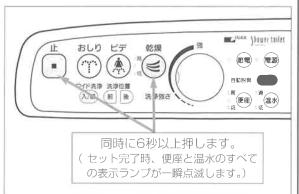
温風温度が「高」から始まるパターンを「低」から始めるパターンに切り替えることができます。
(「低」→「(中)」→「高」)
お年寄り、身体の不自由な方、温度感覚のない方に便利です。下記の要領でセットしてください。

●セットおよび解除方法

止スイッチと乾燥スイッチを同時に6秒以上押し続けます。

※ 停電時や電源プラグをコンセントから抜いたりしたときは、この機能が解除されますので、再セットしてください。
※ 解除も同じ方法で行います。

同時に6秒以上押します。
（セット完了時、便座と温水のすべての表示ランプが一瞬点滅します。）

ご使用方法

■脱臭（脱臭機能の使いかた）

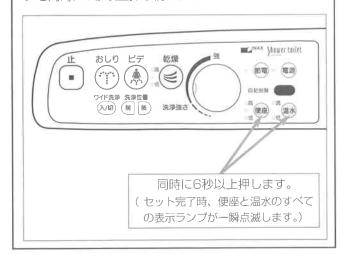
1 便座に座ると脱臭を始めます。

※ シャワートイレ本体にニオイを吸収する脱臭カートリッジが装着されています。(☞20ページ)

※ 乾燥およびワイド洗浄を使用しているときは、一時脱臭が停止します。

2 便座から立ち上がると約1分後に停止します。

脱臭機能を「切」にしたい場合は、便座スイッチと温水スイッチを同時に6秒以上押し続けます。
「切」にすると着座しても脱臭を行わなくなります。
その後、「入」にする場合も便座スイッチと温水スイッチを同時に6秒以上押し続けます。

ご使用方法

■本体スイッチロック機能について

本体のスイッチ（おしり、ビデ、乾燥）に触れても、無効にするスイッチロック機能があります。下記の要領でセットしてください。小さなお子さまのいたずら防止などに有効です。

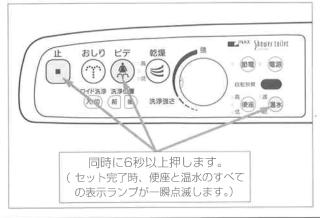
●セットおよび解除方法

止スイッチとビデスイッチ、温水スイッチの3個を同時に6秒以上押し続けます。

※ 本体スイッチロック機能がセットされていてもリモコンでの操作は可能です。別売品のリモコンと合わせてご使用になりますと便利です。

※ 停電時や電源プラグをコンセントから抜いたりしたときは、この機能が解除されますので、再セットしてください。

※ 解除も同じ方法で行います。

ちょっと便利な機能

■節電

節電とは、温水と便座の温度を下げて消費電力を抑える機能です。

スーパー節電

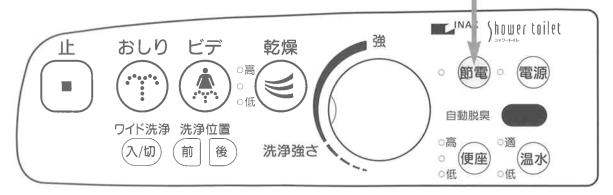
1 節電スイッチを押します。
(表示ランプ点滅下記参照)

設定を解除するまで節電を続け、トイレ使用時には温水温度と便座温度を設定状態に戻します。

※ 便フタが閉じている間は常に節電しています。(表示ランプ点滅)

※ 便フタが開いている間は、節電されません。(表示ランプ点灯)

※ 節電スイッチを切っている状態でも便ふたを閉じておくと節電に効果的です。

2 切るときは、再び節電スイッチを押します。(表示ランプ消灯)

《知っておいていただきたいこと》

温 か い シ ャ ワ ー の 量 と 温 度 は ？

●温水タンクの容量は、1.4 Lです。
おしりまたはビデ洗浄を長時間使用しますとシャワーの温度がしだいに低下します。続けて使用する場合は、3分間程度待ってから再度使用してください。

●シャワーの温度は、表示ランプの位置に合わせて一定の温度に調節しています。
温水タンク内制御温度
低: 約38℃、適: 約40℃。
冬期には冷水（約5℃）から適温（約40℃）になるまでに約10分間かかります。

ご使用方法

着座センサーが付いています。

人が座っていないときに誤ってスイッチを押してもシャワーが噴出しないよう、着座センサーがついています。したがって便座に座らないとおしり洗浄、ビデ洗浄、乾燥、脱臭の各機能がはたらきません。
また、便座にシートカバー・便フタカバーを付ける場合、不適切なカバーによっては着座センサーが入りっ放しになったり、または入らなかったりして不具合が生じることがあります。

※ 便座に座っているときに停電し、そのままの状態で停電が直った場合、おしり洗浄等の操作ができない場合があります。こんなときはいったん便座から立ち上り、1〜2秒経ってから再度座ってください。

はじめの頃、温風が少し臭うかもしれません。〈乾燥付〉

新しいうちは、温風が少し臭うことがありますが、ご使用とともに消えますので、ご心配はありません。

ラジオやテレビに雑音が入ったら。

シャワートイレにラジオやテレビを近づけると、ラジオやテレビに雑音が入ることがあります。
このような場合は、雑音が入らない位置までラジオやテレビを離して使用してください。

ノズルの付近から出る水は？

洗浄の前後や温水スイッチを入れたときなど、ノズル付近から水が出ますが、これは構造上必要なもので、故障ではありません。

※ 上記以外のときやいつまでも水が止まらない場合は、止水栓を閉め、電源プラグをコンセントから抜き、お求めの販売店または(株)INAXメンテナンスへご連絡ください。

洗浄強さダイアルが最弱付近ではノズルが出ない、と思ったら。

このシャワートイレは、水道圧によってノズルを押し出し、シャワーを噴出する構造となっています。
水道圧が低いところでは、洗浄強さダイアルが最弱付近にあると、ノズルが出ないことがあります。
このようなときは、「強」側にゆっくりと回して調節してください。(☞10ページ)

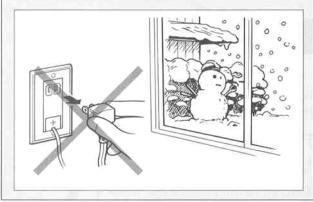
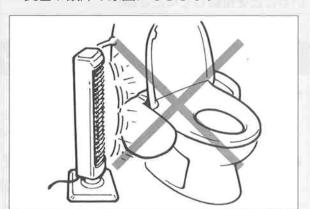
ゆっくり閉じる便座・便フタ。

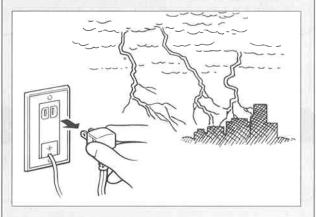
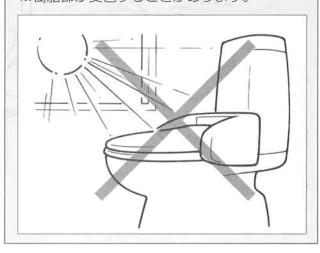
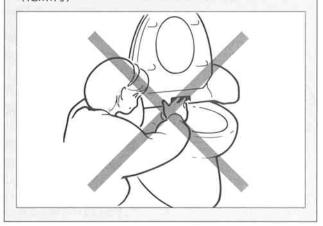
便座・便フタには、あやまって倒したときなどの衝撃をやわらげるため、ゆっくりと閉じるようにスローダウン機構が装備されています。

※ 強引に閉じると故障の原因になることがありますのでご注意ください。

お取り扱い上の注意

■故障を起こさないために守ってください。

凍結の恐れがあるような夜間は、凍結による破損を防止するために電源プラグを抜いたり、温水スイッチを「切」にしないでください。(☞27、28ページ)

シャワートイレ本体にストーブやヒーターなどを近付けすぎないでください。
※変色や故障の原因になります。

便フタおよび便座の開閉は乱暴に行わないでください。
※割れたり漏電など故障の原因となることがあります。

雷が近くで発生しているときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
※事故や故障につながる場合があります。

直射日光が当たらないようにしてください。
※樹脂部が変色することがあります。

絶対に温風吹き出し口をふさがないでください。
※故障の原因になることがあります。
〈乾燥付〉

お手入れ方法

《日頃のお手入れ》

注意

お手入れをするときは、必ず電源スイッチを押して本体操作部の電源ランプが消灯していることを確認してください。

本 体 の お 手 入 れ の し か た

● **柔らかい布で水ぶきをしてください。**

汚れは放っておくと落ちにくくなりますので、こまめに水ぶきをしましょう。
また、水ぶきは静電気を防ぎます。静電気はホコリを引き寄せ、黒く汚れる原因になります。

● **お手入れにはINAX純正のトイレ用おそうじティッシュまたはシャワートイレお掃除クリーナー（別売品）をおすすめします。**

市販の便座用おそうじティッシュが使用できますが、中には適さない製品があります。ご不明な点は洗剤メーカーに確認してから使用してください。
別売品の購入方法については33ページをご覧ください。

※ このシャワートイレは、便フタが簡単に外せます。（☞19ページ参照）また、本体を便器から移動させることができますので、便器と本体の間も楽に掃除ができます。（☞21ページ参照）

止水栓 や分岐金具などのお手入れのしかた

メッキ金具には、ミシン油やカーワックスなどをしみこませた布でふいてください。

⚠ 注意

電源プラグに付着したほこりは定期的にふき取ってください。その際は電源プラグを抜き、乾いた布でふき取ってください。
※絶縁不良により火災の原因になります。

⚠ 警告

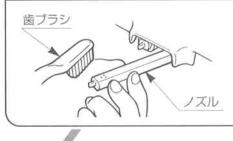
本体内に水や洗剤を入れないでください。本体や電源プラグ部に水や洗剤をかけないでください。

※ 感電・火災の恐れがあります。

⚠ 注意

樹脂部のお手入れには、便座に使用できる洗剤以外(トイレ用洗剤、住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、クレンザー、クレゾール)は使用しないでください。

※ 樹脂が割れてケガや感電・火災の原因となります。

ノズルのお手入れのしかた

ノズルを引き出し、シャワーが噴出する穴が汚れていたら歯ブラシ等で掃除してください。

※ ノズルを無理に引っ張ったり、曲げたりしないでください。

お手入れ方法

抗菌部位について

ノズル・便座・便フタ・カバーに抗菌樹脂を、操作部のスイッチシートには抗菌シートを採用しています。

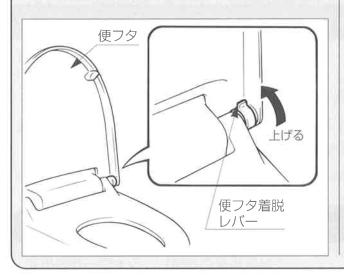
KILAMIC抗菌商品について

- KILAMIC抗菌商品は,商品表面の細菌の繁殖を抑える効果を持ちますが、ホコリ・油膜等が表面を覆った場合には、十分な抗菌効果を発揮できないことがあります。
- KILAMIC抗菌商品は、商品表面の細菌の繁殖を抑える効果を持ちますが、細菌が全くなくなるわけではありません。従って感染等が防げるわけではありません。
- 抗菌製品技術協議会の抗菌製品規格SIAA*に適合した製品です。

＊：SIAAマークは、抗菌製品技術協議会の「安全性と抗菌性能などのガイドライン」に沿って品質管理された製品に表示されるマークであり、情報公開されています。

《便フタを外して掃除します》

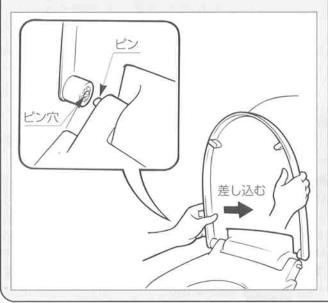
便フタの外しかた

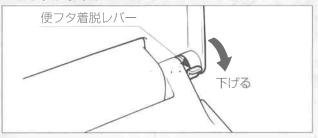
1. 便フタを開け、便フタ着脱レバーを"カチッ"と音がするまで上げます。

2. 便フタの右側を持ち上げて便座から浮かせます。・・・①

3. 便フタを左にずらして外します。・・・②

注意 **強引に持ち上げると割れるなど破損の原因となります。**

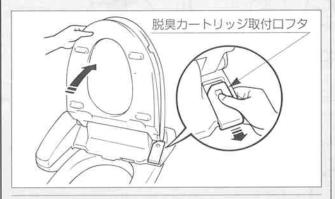
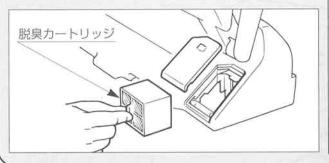
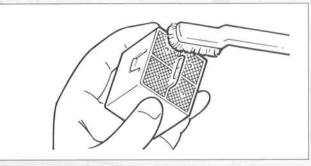
便フタの組み付けかた

1. 便フタ左側のピン穴と便座のピンを合わせて差し込みます。

2. 右側を降ろしてセットします。便フタが傾いていないことを確認してください。

3. 便フタ着脱レバーを"カチッ"と音がするまで下げます。

《脱臭効果が弱くなった場合》

脱臭カートリッジにホコリ等が付着すると十分な脱臭ができなくなります。ニオイが気になりだしたら、清掃してください。

脱臭カートリッジのお手入れ方法

1. 便座を上げ、脱臭カートリッジ取付口のフタを外します。

2. 脱臭カートリッジを引き抜きます。

3. フィルターのホコリ等を歯ブラシなどで取り除きます。

注意 **脱臭カートリッジ本体は水洗いできませんのでご注意ください。**

4. 脱臭カートリッジを取付口に差し込み、フタを取り付けます。

■脱臭カートリッジのお取り替えについて

清掃してもまだニオイが気になる場合、脱臭カートリッジの寿命ですので、新品と交換してください。
脱臭カートリッジの寿命は、通常使用で約7年です。
※ 脱臭カートリッジの寿命は、4人家族（男性2人、女性2人）の平均使用時間を基本としています。

まずシャワートイレ使用開始日を右の日付記入欄に記入し、脱臭カートリッジ交換の目安としてください。
次回脱臭カートリッジを交換する場合は、脱臭カートリッジにある日付ラベルに使用開始日を記入してください。

シャワートイレ使用開始日をご記入ください。
年　　月　　日

※ お取替用の脱臭カートリッジのお求めは、34ページ“別売品の購入方法”をご覧ください。

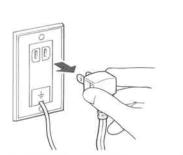
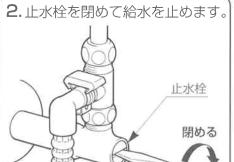
⚠ 注意

脱臭カートリッジ取付口の奥に脱臭ファンがありますので、指や、脱臭カートリッジ以外の物を入れないでください。
※ 指をケガしたり故障の原因になります。

《本体を外して掃除します》

1．本体の外しかた

1. 電源プラグをコンセントから抜きます。（注意1.参照）

2. 止水栓を閉めて給水を止めます。

3. 温水タンクから水を抜きます。（☞26ページ）（注意2.参照）

温水タンク水抜栓

本体取付ボルト

本体（傾けないでください！）

平パッキン
（便器内に落とさないで！）

止水栓

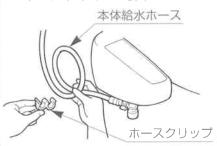
本体給水ホース
（無理に引っぱらないで！）

Newクイックナット

便器リム部
（ここに本体を置いてください。）

お手入れ方法

4. 本体取付ボルトからNewクイックナットを外します。

5. ホースクリップが付いている場合は、本体給水ホースからホースクリップを外します。

6. 本体を静かに垂直に持ち上げ、便器から外します。
（注意3.と4.、5.参照）

7. 本体に本体取付ボルト、平パッキンが確実に取付いていることを確認します。

8. 本体を便器リム部に静かに置きます。（注意4.と5.、6.参照）

注意

1.電源プラグを必ずコンセントから抜いてください。
※温水タンクのカラダキによって発煙・発火の恐れがあります。

2.温水タンクの水は、必ず抜いてください。
※温水タンク内に水が入っていると、漏電の恐れがあります。

3.パッキン類や本体取付ボルトなどの部品を紛失しないように注意してください。
※特に便器内に落とさないようにしてください。

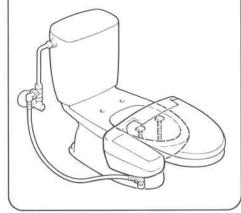
4.コード類や本体給水ホースを引っぱらないでください。
※破損や漏水の恐れがあります。

5.本体の取外し時や清掃時には、ていねいに扱ってください。
※漏水・故障の原因となります。

6.本体は、絶対に傾けたり、裏返さないでください。
※故障の原因になります。

●床に置かないで！
●立てかけたりしないで！

●本体を傾けないで！
●裏返さないで！

●引っぱらないで！

※分岐金具と本体の給水接続が、本体給水ホースではなく接続銅管による接続の場合や、和風アタッチメントとのセットの場合は、本体を外して掃除することはできません。

2．掃除の仕方

●本体の掃除は、柔らかい布で水ぶきしてください。

※ 便器の掃除は、便器の取扱説明書にしたがってください。

⚠警告

本体内に水や洗剤を入れないでください。本体や電源プラグ部に水や洗剤をかけないでください。
※ 感電・火災の恐れがあります。

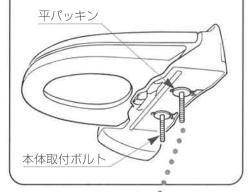
注意

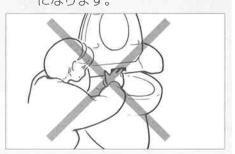
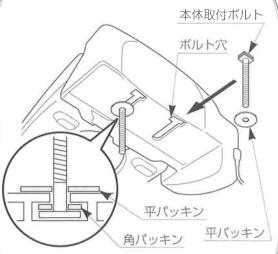
●本体を傾けないでください。
※故障の原因になります。

●便器を掃除しているとき、洗剤が本体にかからないように注意してください。また、便器に洗剤が残らないように水拭きしてから本体を取り付けてください。
※洗剤が本体に付着すると故障の原因になります。

●温風口やノズル付近に手や物を突っ込まないでください。
※手をケガしたり、故障の原因になります。

3．本体の組付けかた

1.本体に本体取付ボルト、平パッキンが確実に取付いていることを確認します。

2.本体取付ボルトを便器の取付穴に通して本体を設置します。

※ 便座の先端が便器の先端より5~20mm出るように前後の位置調節をします。

もし、本体取付ボルトが外れていたら、本体裏側のボルト穴に取り付けてください。

本体取付ボルトには角パッキンが付いています。角パッキンを外さないでください。

本体取付ボルト
（斜めに取り付けないで！）

止水栓

本体給水ホース

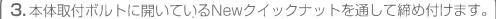
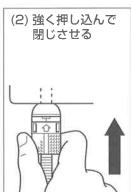
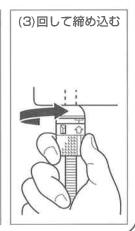
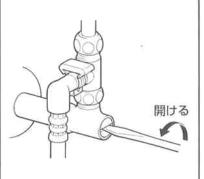
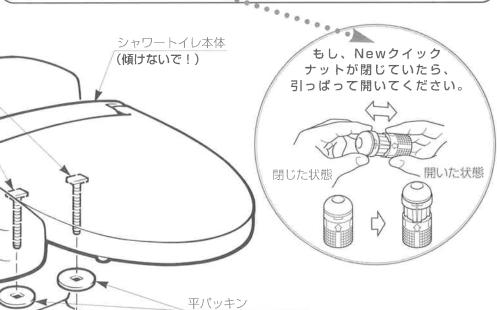
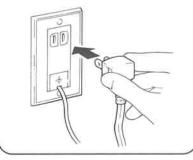
Newクイックナット
向きに注意して！
黒いゴム部分が上です。

お手入れ方法

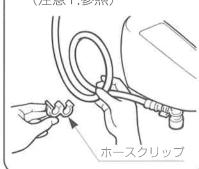
3. 本体取付ボルトに開いているNewクイックナットを通して締め付けます。

(1) ボルトにNewクイックナットを通す

(2) 強く押し込んで閉じさせる

(3)回して締め込む

4. 止水栓を開いて、給水します。

※ 各部に漏水がないか確認します。

5. 電源プラグをコンセントに差し込みます。

6. ホースクリップが付いていた場合は、本体給水ホースを丸めてホースクリップで固定します。
(注意1.参照)

注意

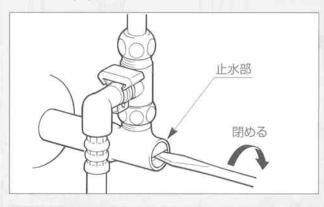
1. **ホース類を無理に曲げないでください。**
   ※つぶれて元に戻らなくなったり、給水しなくなります。

7. 取付けが完了したら**必ず試運転を行ってください。**
(☞7、8ページ)

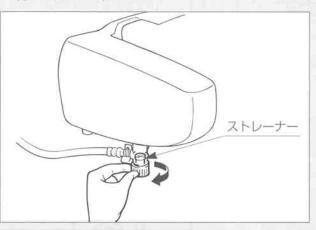
お手入れ方法

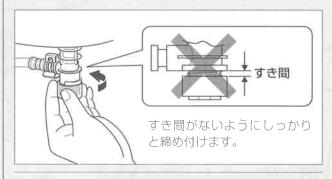
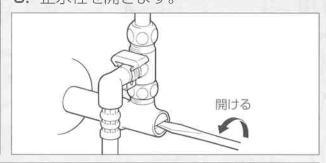
《シャワーが弱くなってきたなと思ったら》

シャワートイレを長期間使用してシャワーの勢いが弱くなりはじめたら、以下の手順でストレーナーの掃除を行ってください。（目安としては2年に1回程度です。）

ストレーナーの掃除方法

1. 止水栓を閉めて、タンクへの給水を止めます。

2. 本体左下のストレーナーを回して外します。

※ このとき少量の水がこぼれますので、洗面器等を下に置いてください。

3. ストレーナーに付いているゴミを水洗いして取り除きます。

4. ストレーナーを確実に取り付けます。

5. 止水栓を開きます。

6. 最後に必ず試運転を行ってください。（☞7、8ページ）

⚠ 注意

ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉めてください。また、ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようにしっかり締めてください。

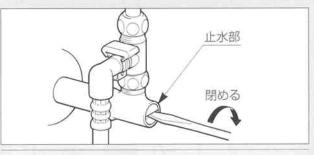
※ 漏水の原因になります。

お手入れ方法

長期間使用しない場合

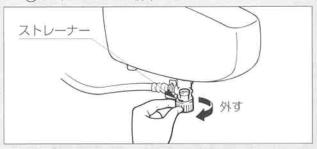
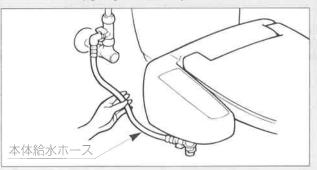
旅行などで長い間、シャワートイレを使用しないと中の水が汚れて詰まりの原因になります。また、冬期などで冷え込みが厳しいときには、凍結して破損することがあります。これらを防止するため、以下の手順でシャワートイレ内の水を抜いてください。特に、別荘でお使いの場合は、帰宅前に必ず行ってください。人がいない家では予想以上に室温は下がります。

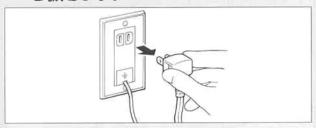
水抜きおよび電源の取外し

1. 止水栓を閉めて、タンクへの給水を止めます。

2. 洗浄ハンドルを操作して、タンク内の水を抜きます。

3. 本体給水ホースから水を抜きます。

① 操作部の下に洗面器等を置きます。

② ストレーナーを外します。

③ 本体給水ホースを持ち上げるようにして、ホース内の水を完全に抜きます。

4. 温水タンク水抜栓をゆるめて、温水タンクから水を抜きます。

5. ストレーナーと温水タンク水抜栓を確実に締め、電源プラグをコンセントから抜きます。

6. 再び使用するときは、必ず試運転を行ってください。（☞7、8ページ）

■もし凍結してシャワーが出なくなったら

万一、本体給水ホースや給水接続部が凍結し、シャワーが噴出しない場合は、温かいお湯に浸した布等で、本体給水ホースや給水接続部を温めてゆっくり解凍するか、または室内を暖めて自然解凍を待ってください。

注意 **本体給水ホースに熱湯や熱風をかけないでください。**
※本体給水ホースが破損する恐れがあります。

⚠ 注意

ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉めてください。また、ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようにしっかり締めてください。
※ 漏水の原因になります。

長期間使用しない場合

冬期凍結の恐れがある場合

冬期、冷え込みが厳しいと、シャワートイレ内の水が凍って破損することがあります。凍結破損を防止するために以下の作業を行ってください。
電源プラグは抜かずに必ずコンセントに差し込んでおいてください。

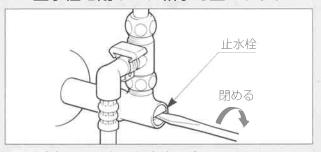
一般的な凍結防止方法

1. 温水スイッチを「適」、便座スイッチを「高」にして便フタを閉じます。

節電を行っている場合は、節電を解除します。

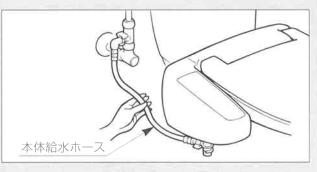
2. 室内を暖房します。

もし室内が暖房できない場合は、以下の手順で本体給水ホースから水を抜いてください。

1. 止水栓を閉めて、給水を止めます。

（次ページの注意参照）

2. 本体給水ホースから水を抜きます。

① 操作部の下に洗面器等を置きます。
② ストレーナーを外します。

③ 本体給水ホースを持ち上げるようにして、ホース内の水を完全に抜きます。

④ 水抜き後、ストレーナーを締め付けます。

3. 再び使用するときは、必ず試運転を行ってください。（☞7、8ページ）

流動式タイプ便器を使用している場合の凍結防止方法

1. 温水スイッチを「適」、便座スイッチを「高」にして便フタを閉じます。

節電を行っている場合は、節電を解除します。

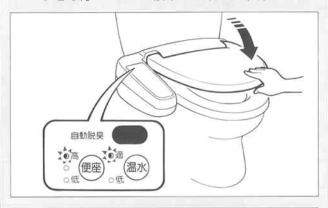
2. 便器本体の流動ハンドルを操作します。

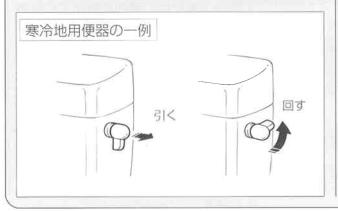
便器本体の流動ハンドルを操作して、タンク内の水が絶えず便器内に流れるようにします。

3. 室内を暖房します。

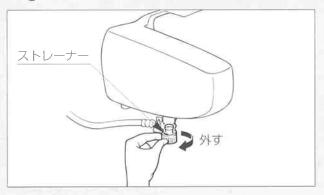
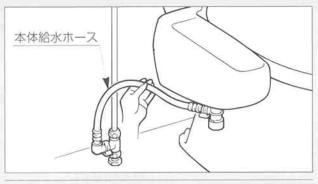
水抜式タイプの便器を使用している場合の凍結防止方法

1. 温水スイッチを「適」、便座スイッチを「高」にして便フタを閉じます。

節電を行っている場合は、節電を解除します。

2. 室内（便器）の水抜栓を操作して、配管内の水を抜きます。

3. 洗浄ハンドルを操作して、タンク内の水を抜きます。

4. 本体給水ホースから水を抜きます。

① 操作部の下に洗面器等を置きます。

② ストレーナーを外します。

③ 本体給水ホースを持ち上げるようにして、ホース内の水を完全に抜きます。

5. 水抜き後、ストレーナーを締め付けます。（下記の注意参照）

6. 再び使用するときは、必ず試運転を行ってください。（☞7、8ページ）

⚠ 注意

ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉めてください。また、ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようにしっかり締めてください。

※ 漏水の原因になります。

■もし凍結してシャワーが出なくなったら

万一、本体給水ホースや給水接続部が凍結し、シャワーが噴出しない場合は、温かいお湯に浸した布等で、本体給水ホースや給水接続部を温めてゆっくり解凍するか、または室内を暖めて自然解凍を待ってください。

注意 本体給水ホースに熱湯や熱風をかけないでください。

※本体給水ホースが破損する恐れがあります。

修理を依頼される前に

《故障かなと思ったら》

簡単に故障が直る場合がありますので修理を依頼される前に下記項目をご確認ください。

現　象	原　因	処　置
シャワーが出ない。（ノズルが出ない。）	電源コンセントに電気がきていない。	停電、ブレーカーなどを確認します。
	電源プラグがコンセントに差し込まれていない。	電源プラグを完全に差し込みます。
	電源スイッチが「切」になっている。	電源スイッチを押して本体表示部の電源ランプを点灯させます。
	漏電している。	電源プラグをコンセントから抜き、しばらくおいてから再び差し込みます。それでも作動しない場合は、電源プラグを抜き、修理を依頼してください。
	止水栓が閉じられている。	止水栓を左に回します。（☞7ページ）
	ストレーナーが目詰まりしている。	ストレーナーの掃除をします。（☞25ページ）
	着座センサーが入っていない。	着座しないとシャワーはでません。（☞15ページ）
	水道圧が低い。（☞10ページ）	洗浄強さダイアルを「強」側に回します。（☞10ページ）
	本体給水ホース等が凍結している。	暖かいお湯に浸した布等で、本体給水ホースや給水接続部を温めてください。または、室内を暖めて自然解凍を待ってください。（☞28ページ）
シャワーが温かくない。	温水スイッチが適当な温度に調節されていない。	温水スイッチを押し、適当な温度に調節します。（☞9ページ）
	長時間洗浄した。	約3分で温かくなります。（☞14ページ）
便座が暖かくない。	便座スイッチが適当な温度に調節されていない。	便座スイッチを押し、適当な温度に調節します。（☞9ページ）
長時間座ると便座がぬるく感じる。	便座ヒーターオートOFF機能が働いている。	便座ヒーターオートOFF機能を解除します。（☞9ページ）
温水または便座の表示ランプが点滅している。	点滅している機能に不具合が生じている。	故障していますので、コンセントから電源プラグを抜いて、修理を依頼してください。
本体がガタつく	Newクイックナットがゆるんでいる。	Newクイックナットを締め直してください。（☞24ページ）

※上記処置で故障が直らない場合は、お求めの販売店または(株)INAXメンテナンスにご相談ください。

アフターサービス

1. 修理を依頼される前に

商品が故障したら「故障かなと思ったら」（29ページ）を参照してください。
それでも故障が直らない場合は、お求めの販売店または(株)INAXメンテナンスにご相談ください。
なお、不具合でなくても下記の場合はご相談ください。

- ●取扱説明書どおりに使用されても、まだ不明な点がある場合
- ●コードの傷みやコンセントのガタツキ
- ●コンセントや電源プラグ、コードの過熱

上記の場合、そのままにしておくと思わぬ事故につながる恐れがあります。必ずご相談ください。

⚠ 警告

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。

※ 感電・火災の原因や、異常作動してケガをすることがあります。

2. 保証書をご覧ください

保証書をご覧になって保証期間中か、保証期間を経過しているかを確認してください。

※ 保証書は、販売店で所定事項を記入してからお渡しいたしますから、記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間は取付けの日から2年間です。

なお、保証期間中でも以下の場合、有料修理とさせていただきます。

1) 使用・維持管理上の誤り、および不当な修理・改造による故障および損傷
2) お買い求め後の取付場所の移動、およびそれに伴う落下などによる故障および損傷
3) 火災・地震・水害・落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧など、その他の事故および損傷の原因が商品以外にある場合
4) 消耗部品の劣化に伴う故障および損傷
5) 保証書の提示がない場合
6) 保証書に取付日・お客さまのお名前・取扱店名の記入がない場合、あるいは字句の書き替えられた場合

このほか保証書には、重要な事項を記載していますので、必ずよくお読みください。

3. 修理を依頼されるとき

■保証期間中の修理

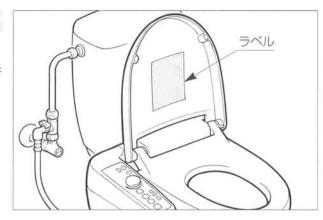
修理に際しては、必ず保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

■保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
料金の内訳は、技術料＋出張料＋部品代です。

3. 修理を依頼されるとき（つづき）

■連絡していただきたい内容

1. ご住所・ご氏名・電話番号
2. 商品名（シリーズ名またはタイプ名）と色番（便フタ裏側のラベルをご覧ください。）
3. ご購入日（保証書をご覧ください）
4. 故障内容・異常の状況（できるだけ詳しく）
5. 訪問ご希望日

4. 補修用性能部品の最低保有期間

シャワートイレの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後6年です。保有期間経過後の修理では、部品がない場合がありますのでご了承願います。

※ 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5. 定期点検のおすすめ

有料となりますが、次のような場合は定期的に点検を受けていただくことをおすすめします。

- ●ご使用上支障がなくても長くお使いいただくため、お買上げより3年たったもの
- ●温泉地域および海岸付近など、特に腐食をおこしやすいところで使用されるもの

定期点検については、㈱INAXメンテナンスまでご相談ください。
点検料金の内訳は、点検料（技術料）＋出張料＋部品代（交換した場合）です。

6. 商品について不明な点、およびアフターサービスについておわかりにならないとき

お求めの販売店または当社お客さま相談センターにご相談ください。

使い方・お手入れ方法等、商品についてのお問合せは

（株）INAX「お客さま相談センター」

TEL 0120-1794-00
FAX 0120-1794-30

受付時間　平日　9:00～19:00
土日・祝日10:00～18:00（夏季、年末年始の休みは除く）

修理のご依頼は

お求めの販売店または
（株）INAXメンテナンス

0120-1794-11　受付時間9:00～20:00（日曜、祝日は9:00～17:30）

仕様

		脱臭機能付、温風乾燥機能付	脱臭機能付
タイプ		脱臭機能付、温風乾燥機能付	脱臭機能付
給水方式		水道直結式	
使用水道圧範囲		0.059～0.74MPa {0.6～7.5kgf/cm²}	
最大定格		AC100V 648W（大型便座） 645W（標準便座） 50/60Hz	
商品寸法		幅510×奥行557（大型）・527（標準）×高さ212mm	
商品質量		約6.0kg	
おしり・ビデ洗浄	温水タンク・容量	貯湯式・1.4L	
	ノズル	おしり・ビデ専用オートスライド式	
	ノズル穴	おしり用Φ1.0×3ヶ、ビデ用Φ0.8×10ヶ	
	おしり洗浄吐水量	0～1.3L/分	
	ビデ洗浄吐水量	0～1.3L/分	
	温水ヒーター容量	600W	
	温水タンク内制御温度	切（水温）・低（約38℃）・適（約40℃）	
	安全装置	温度ヒューズ・高温感知スイッチ・ 空だき防止フロートスイッチ・転倒検知スイッチ	
乾燥	風量	0.3m³/分	—
	温風ヒーター容量	0・150・300W	—
	温風温度調節	低（室温）・中・高	—
	安全装置	温度ヒューズ	—
便座	ヒーター容量	大型便座48W、標準便座45W	
	表面温度	切（室温）・低（27℃）・中（35℃）・高（39℃）	
	温度調節	4段階切替（マイコン制御）	
	安全装置	温度ヒューズ	
脱臭	脱臭方式	脱臭カートリッジによる化学吸着方式	
	脱臭能力	0.11m³/分	
	脱臭カートリッジ寿命	約7年	
節電機能		スーパー節電(24時間)	
電源コード		有効長さ1.2m	
その他の機能		●本体に漏電遮断回路内蔵 ●着座センサー ●洗浄位置調節、ワイド洗浄 ●便座・便フタスローダウン ●便フタワンタッチ着脱機構 ●本体クイック着脱 ●電源スイッチ	

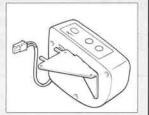
注意 この商品は、日本国内向け仕様です。海外での使用は、おやめください。

別売品のご案内

INAXでは、快適なトイレ空間造りのお手伝いとして、シャワートイレのメンテナンス用品をはじめとする、数々の別売品を用意しております。

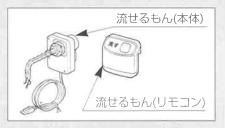
別売品について

■部屋暖房ユニット（品番：CWA-30）

スイッチ一つでトイレ室内を暖房します。
※ **乾燥付**のみに対応します。**乾燥無**には取付けできません。

■リモコン（品番：CWA-9）

無理のない、楽な姿勢で操作できます。
※ **乾燥無**では、乾燥スイッチを押しても温風は出てきません。

■流せるもん（品番：CWA-13、CWA-18）

便座から立ち上るだけで便器洗浄を行います。もちろんリモコンでも操作できます。
※ 便器によっては、取付けできない場合もあります。

■取替え用脱臭カートリッジ（品番：CWA-29）

脱臭カートリッジの寿命は、約7年です。ニオイが気になりだしたら交換してください。
(☞20ページ)

■シートカバー（品番：ACF-355,455）
■便フタカバー（品番：ACF-344,444）

他社製品や不適切なカバーによっては、便座が立たなかったり、着座センサーが入り放しになったりして、不具合が生じる場合があります。
シートカバーや便フタカバーは、当社のアクセサリーからお選びください。

■トイレ用おそうじティッシュ（品番：CWA-36）

樹脂を傷めず、除菌効果に優れたトイレ専用ウェットティッシュです。使用後、便器にそのまま流せます。
(☞17ページ)
※ 環境にやさしい牛乳パック再生紙使用。

■シャワートイレお掃除クリーナー（品番：CWA-20）

樹脂を傷めないスプレー式シャワートイレ専用洗剤です。シュッと吹きかけて、ただふき取るだけ。脱臭剤配合で便器にもご使用になれます。
(☞17ページ)

別売品の購入方法

●直接、購入される場合

お求めのシャワートイレ販売店、またはお近くのINAXショールームでお求めください。また、全国有名スーパー、大手家電量販店でもお求めになれます。（一部、取扱っていない場合もあります。）

●宅配サービスを利用される場合

お近くの㈱INAXメンテナンスにご連絡ください。
宅配サービスにてお届けします。（宅配サービスの場合は送料が別途必要となります。）

ご注文フリーダイヤル：0120-00-1794
受付時間　9：00～17：00（土、日、祝日を除く）

リモコンの取扱方法

■操作部の名称とご使用方法

止
●おしり洗浄●ビデ洗浄●乾燥の動作が止まります。

おしり
おしりを洗うときに使用します。

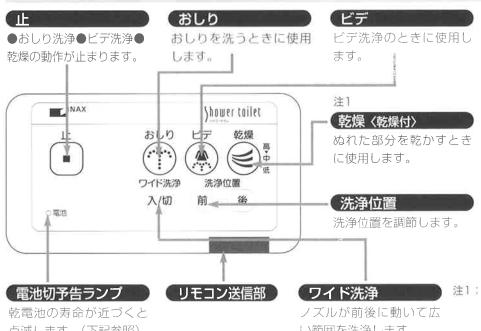
ビデ
ビデ洗浄のときに使用します。

注1
乾燥〈乾燥付〉
ぬれた部分を乾かすときに使用します。

洗浄位置
洗浄位置を調節します。

電池切予告ランプ
乾電池の寿命が近づくと点滅します。（下記参照）

リモコン送信部

ワイド洗浄
ノズルが前後に動いて広い範囲を洗浄します。

●おしり洗浄、ビデ洗浄の水量調節は、本体操作部の洗浄強さダイアルで行ってください。

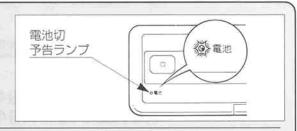
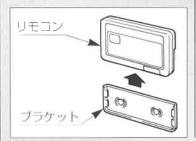
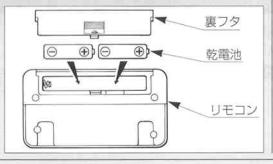
●スイッチは一度押せば、おしり・ビデ洗浄は2分間、温風乾燥は4分間作動しますので、押し続ける必要はありません。

●温風温度「高」・「中」・「低」は、本体操作部の表示ランプに表示されます。

●本体がリモコンの信号を受信すると、本体操作部の温水の「低」が点滅します。

注1：乾燥スイッチは、**乾燥付**専用のスイッチです。
乾燥無の場合は、乾燥スイッチを押しても作動しませんのでご注意ください。

■リモコン電池の取替方法

リモコンの電池の寿命が近づくと、電池切予告ランプが点滅します。
下記の要領で新しい電池に取り替えてください。

1. リモコンを上に持ち上げて、ブラケットから外します。

2. 裏フタを外し、新しい乾電池（1.5V 単三、2本）に取り替えます。

3. 裏フタを元通りにはめ、リモコンをブラケットに上から差し込みます。

注意 ●電池のプラスとマイナスの向きをリモコンの表示通り正しく入れてください。
●新しい電池と古い電池を混ぜて使わないでください。

株式会社 INAX

●ショールームのご案内

札幌 ——011-271-1710	青森 ——0177-74-2345	仙台 ——022-265-1710	郡山 ——024-922-7503
水戸 ——029-227-1718	高崎 ——027-325-1257	宇都宮 —028-634-2133	大宮 ——048-651-1791
アーキプラザ -03-5250-6560	新宿L21 —03-3340-1700	千葉 ——043-222-1701	横浜 ——045-682-4031
長野 ——026-252-6200	松本 ——0263-36-7410	岐阜 ——058-276-1711	静岡 ——054-251-1701
浜松 ——053-411-1794	名古屋 —052-201-1715	岡崎 ——0564-58-1794	津 ——059-226-1715
新潟 ——025-228-1701	金沢 ——076-262-1701	富山 ——076-421-1734	京都 ——075-231-1716
奈良 ——0742-35-3894	大阪 ——06-6539-3111	神戸 ——078-361-6680	岡山 ——086-222-0155
徳島 ——088-626-1703	松山 ——089-931-5730	高松 ——087-821-1782	広島 ——082-227-1701
福岡 ——092-471-1700	熊本 ——096-334-1894	鹿児島 —099-227-1755	

使い方・お手入れ方法等、商品についてのお問合せは

(株)INAX「お客さま相談センター」

TEL 0120-1794-00
FAX 0120-1794-30

受付時間 平日 9:00～19:00
土日・祝日10:00～18:00（夏季、年末年始の休みは除く）

修理のご依頼は(本文の「アフターサービス」をお読みください)

お求めの販売店または
(株)INAXメンテナンス

0120-1794-11 受付時間9:00～20:00(日曜、祝日は9:00～17:30)

取扱店

GCW-1028(00040)